

私たち障害者は子供を産んじゃ駄目なんですか？
私たち障害者は産まれてきちゃ駄目なんですか？

宮崎県における 強制不妊手術を 考える集い



2019年3月14日(木曜日)

受付:13時 開会:13時半 閉会:16時予定

宮崎市民プラザ・4階・大研修室

参加費無料

手話通訳・要約筆記 有り

優生保護法により、宮崎県内で強制不妊手術を受けた件数：283件
そのうち女性が276件、男性はわずか7件
優生保護法の内容変更の翌年の強制不妊手術件数：82件
兵庫県で「不幸な子供の生まれない運動」が提唱された翌年：44件
現在、名前のわかっている方：53人（重複可能性あり）



主催：特定非営利活動法人

障害者自立応援センターYAH! DO みやざき

共催：社会福祉法人 宮崎県聴覚障害者協会

宮崎県における 強制不妊手術を考える集い

「宮崎県における強制不妊手術を考える集い」を開催するにあたって

障害者に対して多くの強制不妊手術が行なわれていた過去をニュースによってはじめて知った方や、そもそも優生保護法という法律すら知らなかった方が多いのではないのでしょうか。

国が定める法律として、本人の許可なく手術し、子供を作れない身体にすることを良しとした事や、法の下だから仕方ないと黙認していた社会であった事実が公になりました。

私たちは、二度とこのような恐ろしい事が起きぬよう。また現在も残る障害者に対する差別や偏見にも共通する課題があると考え、目を伏せたくないようなこの問題に向き合わなければいけないと思いこの集いを開催することに決めました。障害当事者に関わらず、誰もが弱者となる可能性があるという視点からも我が事として知り、考える機会にさせていただけたらと思います。

13:30 主催者あいさつ

全体司会:森 愛実

13:40 登壇者報告1 「宮崎県における強制不妊手術の動きに関する報告」

永山 昌彦(障害者自立応援センターYAH! DO みやざき理事)

14:00 登壇者報告2 「全国の強制不妊手術訴訟の動き」

谷口 純一 様(宮崎中央法律事務所・弁護士)

14:20 休憩

14:30 登壇者報告3 「ハンセン病の方々の強制隔離と不妊・墮胎手術」

橋 智子 様(英空寺(真宗大谷派)僧侶)

15:00 登壇者報告4 「障がい者として、女性として 私の思い」

岩切 文代(障害者自立応援センターYAH! DO みやざき理事長)

15:15 登壇者と参加者との意見交換

進行:山ノ内 俊夫(障害者自立応援センターYAH! DO みやざき副理事長)

16:00 閉会あいさつ・終了



◎ 連絡先 ◎

特定非営利活動法人 障害者自立応援センターYAH! DO みやざき

〒880-0842 宮崎県宮崎市青葉町5 2 番地 1

TEL : 0985-31-4800

FAX : 0985-75-0150

Email : yahdo@ r 9.dion.ne.jp

※情報保障の必要な方は、どのような保障が必要かを二週間前迄に下記連絡先にご連絡下さい。